



テッサロニキ
考古学博物館

常設
展示

日本語



先史時代のマケドニア

地階

11



都市の誕生へ

1階

4



紀元前7世紀から 古代末期のマケドニア

1階

5



マケドニアの中心都市、 テッサロニキ

1階

6



マケドニア人の黄金

1階

7



畑 住まい 庭 墓所

中庭

8



開館時間

- ▶ 11月1日から3月31日
月曜日 10:30-17:00
火曜日-日曜日 8:30-15:00
- ▶ 4月1日から10月31日
月曜日 13:30-20:00
火曜日-日曜日 8:00-20:00
- ▶ 閉館日
12月25-26日、1月1日、3月25日、
5月1日、イースター

入場料

- ▶ 一般入場料 6€
- ▶ 割引入場料 3€
- ▶ 共通チケット 8€
隣接するビザンチン文化博物館への入場チケットを兼ねる
- ▶ 割引共通チケット 4€
- ▶ 入場無料の日:
• 11月1日から3月31日までの期間のすべての日曜日
• 特別枠で入場無料になる見学者について、さらに祝祭日のうち入場無料になる日については当館のウェブサイトをご覧ください。

テッサロニキ
考古学博物館

www.amth.gr

住所: 6, M. Andronikou str.
GR 546 21, Thessaloniki
Tel: +30 2310 830538
Fax: +30 2310 861306
Email: info.amth@culture.gr



テッサロニキ考古学博物館
友の会



ギリシャ共和国
教育・宗教・文化・スポーツ省
文化事務総局



DESIGN BY: Together Designing

テッサロニキ考古学博物館

テッサロニキ考古学博物館は1962年以来、建築家パトロクロス・カランディノスが建造した建物に入っています。この建物は保存されるべき近現代遺産として認定されており、ギリシャのモダニズムを代表するものの1つです。当博物館の収蔵物にはマケドニア全土から集められた個別の芸術品や発掘物が含まれていますが、これはテッサロニキ解放直後、最初に設立された公共機関が考古学機関であったことから可能になったものです。2002年から当博物館は大統領令により、文化観光省の独立した特別地方機関になっています。



2003年、設備の近代化を図り、先進的な博物館学に対応していくために全面改装を行いました。古代期の展示はテーマごとに再編成された6つの新たな常設展示ユニットとして生まれ、古代の人々の公私にわたる生活のすべての様子がわかるようになりました。また、毎年大規模な企画展示を1回、小規模な企画展示を2〜5回開催しています。これにより、ギリシャの中の他の地方あるいはより広範な地中海東南部一帯の文化とは異なる、古代マケドニア人の日常生活の独特な特徴を紹介しています。

先史時代のマケドニア

地階 11



この展示ユニットは、まだ人類が出現する前の時代から始まります。初期類人猿であるマケドニアン・ウラノピテクスの頭蓋骨の断片の石膏模型を展示しており、続いて旧石器時代(紀元前350,000-紀元前10,000年)、そして有名なペトラロナ人(紀元前200,000年)の頭蓋骨の複製、さらに、生産活動段階の始まりとともに、狩猟、漁業、農業、牧畜業、調理、貯蔵、機織り、金属加工、交易、技術といったテーマごとの集合体展示へと続きます。これらと並行して、先史時代の人々の神秘的、観念的関心事に関わるものを展示してあります。



都市の誕生へ

1階 4



この展示ユニットでは紀元前1,100年-紀元前700年のマケドニアにおける鉄器時代の集落について証明するものを展示してあります。数世紀にわたり、中心部の建物とそれに付随する多くの農作物倉庫からなる集落が再編され、つくられました。カスタナス、フィラデルフィア、アシロスやテッサロニキのトゥンバなどがそれに当たります。同時に、中央ギリシャや南ギリシャさらには小アジア沿岸地域との交易や交流が盛んになりました。エレクトリア、アンドロス、ハルキダといった南ギリシャの都市国家が、テルマイコス湾ならびにハルキディキ沿岸に、メンディ、アカントス、トロニ、スタギラ、ディケア、メソニといった植民都市を設立します。その頃、オリンポス山の北部からピンドス山の東方で地盤固めをし、紀元前7世紀以降そこから全マケドニア地域に支配を広げたアルゲアス・テメノス王朝マケドニア王国は、これらの地域の住民の植民経験を有効に利用しました。



紀元前7世紀から古代末期のマケドニア

1階 5



この展示ユニットの展示物は、アルカイック期-独立国家としてのマケドニア王国建国の時代-から、マケドニアがローマ帝国の属州であった帝国時代(紀元1世紀-4世紀)までの、マケドニア人の生活面を紹介しています。8つの大テーマ展示により、マケドニアの都市の政治、軍事、社会・経済組織、芸術・文学、宗教、祭儀・習慣について、地域の公的・私生活のさまざまな様子がわかります。主に中央マケドニア(テッサロニキ県、ピエリア県、キルクス県、ハルキディキ県)での新旧発掘調査で出土した数多くの出土品が展示されています。



マケドニアの中心都市、テッサロニキ

1階 6



このユニットには、都市についての歴史的・考古学的資料を展示してあります。都市が築かれた紀元前315年当初すでにアレクサンダー大王の世代と結びつきをもちつつ、言語、文化そして輝かしいマケドニアの歴史の記憶を留めながら、ローマ時代にはマケドニア州の重要な中心地となっていました。



マケドニア人の黄金

1階 7



この展示には、主にアルカイック期と古典期の墓地を始めとしてさまざまな遺跡から出土したすばらしい芸術品の展示物が含まれています。同時に貴金属の加工処理の全工程について、採鉱段階から始まり、古代マケドニア人の公私の生活で使われていた貴重品にみられる複雑な装飾技術までを説明しています。

畑 住まい 庭 墓所

中庭 8



「畑 住まい 庭 墓所」と題された庭空間の常設展示は2つの部分から構成されており、テッサロニキの全盛期であった2世紀から4世紀のものとする収蔵品を展示することで、屋内展示を補完しています。第1部では仮説的に共同墓地の一部が復元され、古代都市の西部墓地および東部墓地から発掘された出土品、石棺、祭壇を置いてあります。第2部は、架空のギリシャ・ローマ風の家を再現したもので、現代の建築材料で建てられました。ここには本物のモザイクの床や、家庭生活および私生活に関連するその他収蔵品を展示しています。



- 1階/中庭
- 1 入口
- 2 売店
- 3 ホール「マノリス・アンドロニコス」
- 4 企画展示室
- 5 展示室「都市の誕生へ」
- 6 展示室「紀元前7世紀から古代末期のマケドニア」
- 7 展示室「マケドニアの中心都市、テッサロニキ」
- 8 展示室「マケドニア人の黄金」
- 9 庭の展示場「畑 住まい 庭 墓所」
- 地階
- 9 多目的ホール「ユーリア・ボクトプール」
- 10 企画展示室
- 11 展示室「先史時代のマケドニア」
- 12 教育プログラムホール
- 13 アトリウム

